

## はじめに

私たちは、Can-doベース（行動中心アプローチ）のコースを設計するにあたり、使用できそうな教材を探していました。しかし、初級後半から中級（A2-B1）にかけては、ちょうどいい作文教材が見当たりませんでした。ないなら、作るしかない！この本はそんな現場の声から生まれたものです。

初級の作文教材は、モデル文もなくテーマのみが掲げられていることも多く、「どうやって書けばいいかわからない」という学習者も少なくありません。また、モデル文があっても、「自分の経験や考えと合わず、まったく参考にならない」あるいは逆に「丸写し」のような作文を目にすることも多々あります。一方、中級に入ると、（いきなり）アカデミックな文章を書くことを要求され、話し言葉と書き言葉の違いなどについて学びます。しかし、まだ自分自身や身の回りのことを日本語で伝えるトレーニングが十分にできていない学習者にとって、それは少々ハードルが高いように思えます。

私たちが考える「作文力」とは、単に文法にそって翻訳した言葉を並べる力ではありません。頭の中で考えていることを整理して、相手に正確に伝えるように言語化する力のことです。日本語の基礎を学び終えた段階（いわゆる初中級レベル）では、まずこの力をきたえることが大切なのだと考えました。

そこで、初級を終えるぐらいから使えて中級への橋渡しとなる、「初級で学んだ語彙や文型+α（アルファ）」で無理なく書ける作文教材を作ろうと思ったのです。この本は自分自身や身の回りのことについて①ある程度まとまりのある長い文章が書けるようになること、②ある程度豊かな表現を用いて内容がある文章が書けるようになること、③相手に伝わるわかりやすい文章が書けるようになることを目標としています。

この本の特長は、以下の通りです。

### ・モデル文が複数ある！

アウトプットするためには、まずは十分な量のインプットが必要です。身近なテーマについて書かれた初級よりやや難しめのモデル文を1課につき2～3つ用意しました。年齢・性別・背景の違うキャラクターによるバラエティーに富んだ文章を楽しみながら（ときには共感しながら）読めるように工夫されています。学習者は、複数のモデル文を読むことで、語彙や表現を増やし、作文の組み立て方を学べます。

### ・日本語で伝える技術が身につく！

課ごとに2つのポイントを設けています。一つは「相手に伝わるわかりやすい文章を書くためのポイント」、もう一つは「テーマにそって豊かな表現を用いて書くためのポイント」です。これらのポイントについて理解を深め、練習をこなすことで、日本語で伝える技術がレベルアップしていきます。

### ・Can-doを各課に設定！

すべての課の最初に課の目標（Can-do）を掲げています。そして作文を書いた後に、その課のCan-doが達成できたかどうか自分でチェックできるようにしています。具体的な目標に向かい、ステップを踏んで学習していくことで、自分の「書く」能力を客観的に評価でき、自信がつかます。（この本の最後に、課の目標（Can-do）と参照した「日本語教育の参照枠」[JF日本語教育スタンダード]の整番をまとめて載せています。この本を使用する際の参考にしてください。）

この本が、多くの現場で役立つことを願っています。

2024年7月

著者一同

も く じ

はじめに ..... 2  
 この本の使い方 ..... 5  
 登場人物 ..... 10

**1 課 食事** ..... 11  
**2 課 健康** ..... 17  
**3 課 ○年後の自分** ..... 23  
 ● Challenge! ① SNS に投稿する ..... 29

**4 課 休みの日の思い出** ..... 31  
**5 課 もし動物になるなら** ..... 37  
**6 課 苦手なもの・こと** ..... 43  
 ● Challenge! ② メッセージに返信する ..... 49

**7 課 仕事** ..... 51  
**8 課 料理のレシピ** ..... 57  
**9 課 自分の名前** ..... 63  
 ● Challenge! ③ あいづちを打つ ..... 69

**10 課 尊敬する人** ..... 71  
**11 課 おすすめ** ..... 77  
**12 課 好きな映画・アニメ・ドラマ** ..... 83  
 ● Challenge! ④ メッセージに返信する ..... 89

**13 課 悩み相談** ..... 91  
**14 課 日本で驚いたこと** ..... 97  
**15 課 お礼の手紙・メール** ..... 103  
 ● Challenge! ⑤ SNS に投稿する ..... 109

学習内容一覧 ..... 112

別冊 (練習問題の答え)

# この本の使い方

● 1ページ目

Can-do

この課でできるようになること  
 (目標) が書かれています。

**1 課 食事**

Can-do

毎日の食事や食生活について、知っている言葉を使って説明することができる。

Can describe daily meals and eating habits using words you know.

**STEP 1**

● I. どんな料理ですか。いつ食べる料理だと思いますか。

a  b  c 

d  e  f 

STEP 1-1

課のテーマに関係した質問があります。絵や表を見ながら、考えてみましょう。そして、ほかの人と話してみましょう。

● 2～3 ページ目

STEP 1 - II

課のテーマにそったモデル文です。どんな内容をどのように書いているか、まずは読んでみましょう。  
 モデル文には音声が付いています。一度読んでから、音声も聞いてみましょう（音声はウェブサイトにあります）。  
 難しい言葉は、下に抜き出してあります。わからない言葉があったら調べましょう。

II. モデル文を読みましょう。



マット (オーストラリア出身、日本語学校の学生)

L1-1

朝ご飯は、たいていパンと牛乳です。パンにバターとジャムをぬって食べます。時間があるときは、サラダや目玉焼きを作ります。  
 昼ご飯は、ハンバーガーなどファストフードの店で食べます。たまに牛丼屋やラーメン屋に行くこともあります。  
 晩ご飯は、自分で作ります。料理はあまり上手ではありません。でも、インターネットで調べて、いろいろな料理を作っています。この間、友だちを呼んで、みんなでギョーザを作りました。とてもおいしかったです。



目玉焼き ファストフード 牛丼 ギョーザ

野菜 たまに 休日 外食する

Point ①

文が長くて意味がわかりにくい場合は、次のように2つの文に分けるといいです。

If the sentence is too long and the meaning is difficult to understand, you can divide it into two sentences as follows.

①全部並べない Do not list everything in a single sentence.

・朝は、毎日ご飯とみそ汁と卵と納豆を食べます。  
 → 朝は、毎日ご飯とみそ汁を食べます。卵や納豆もよく食べます。

②だれが何をしたか、はっきりわかるように Be sure to make clear who did what.

・昼ご飯は、会社で同僚と妻が作ったお弁当を食べます。  
 → 昼ご飯は、たいてい会社で同僚とお弁当を食べます。お弁当は妻が作ってくれます。

練習 次の文を2つに分けましょう。

- 1) 毎朝、パンと卵とサラダとヨーグルトを食べます。  
→
- 2) 休みの日のお昼は、父が作ってくれたラーメンを食べます。  
→

13

Point ①

自分が伝えたいことを相手に正確に伝えるために気をつけたいPoint があります。  
 練習もやってみましょう。

● 4 ページ目

Point ②

今気をつけていることや、これから気をつけたいことを表すとき、次のような表現を使います。

The following expressions are used to express things you are currently being careful about or will be careful about in the future.

- ・(いつも/できるだけ) [Vる/Vない] ようにしています
- ・(これから) [Vます/Vない] ようにします/ようにしたいです  
 [Vます] たいと思います  
 [Vよう] と思っています

Point ②

課のテーマにそった作文を書くのに役に立つ表現・文型を紹介しています。作文を書く際に使ってみましょう。

N	めいし 名詞	先生、相談、お礼
イA	けいようし い形容詞	高い、おいしい、辛い
ナA	けいようし な形容詞	好き、苦手、すてき
Vます	どうし 動詞のます形	のみます、みます、します、きます
Vる	どうし 動詞の辞書形	のむ、みる、する、くる
Vない	どうし 動詞のない形	のまない、みない、しない、こない
Vた	どうし 動詞のた形	のんだ、みた、した、きた
Vて	どうし 動詞のて形	のんで、みて、して、きて
Vよう	どうし 動詞の意向形	のもう、みよう、しよう、こよう

練習1 音声を聞いて、書きましょう。

L1-4

- 1) 朝ご飯は、\_\_\_\_\_パンと牛乳です。
- 2) \_\_\_\_\_牛丼屋やラーメン屋に\_\_\_\_\_こともあります。
- 3) \_\_\_\_\_私や弟が食べすぎて、父の分のご飯がなくなってしまふ\_\_\_\_\_。
- 4) 昼は、\_\_\_\_\_職場の同僚とランチを食べに出かけます。

練習2 「いつも」「たいてい」「ときどき」「たまに」などに気をつけて、文を作りましょう。

例) 朝は、たいていご飯とみそ汁ですが、ときどきパンを食べることもあります。

- 1) 朝ご飯のとき、たいていコーヒーを飲みますが、  
たまに\_\_\_\_\_こともあります。
- 2) 昼ご飯は、\_\_\_\_\_が、  
ときどき\_\_\_\_\_。
- 3) 夜は、たいてい\_\_\_\_\_が、  
忙しいときは、\_\_\_\_\_。

練習1

Point ②で紹介した表現・文型がモデル文の中でどのように使われているか確認しましょう。  
 音声を聞いて、下線部を書いてみましょう（音声はウェブサイトにあります）。

● 5 ページ目

**STEP 2**

I. 自分のことを書きましょう。  
あなたはいつも、どこで、だれと、どんなものを食べていますか。

	何時ごろ	どこで	だれと	何を食べる?
朝食	例) 7時	部屋で	一人で	パンと牛乳
昼食				
夕食				

+α 休みの日や朝時間がないとき、夜遅く帰ってきたときは、どうしていますか。

II. 「食事」について、モデル文を参考に 250 字程度で書きましょう。

作文用紙 

第1段落  
朝食

+ α

第3段落  
夕食、その他

第2段落  
昼食

練習2

Point ②で紹介した表現・文型の練習問題です。作文を書くときに使えるように、練習してみましょう。

● 6 ページ目

**STEP 3**

チェックしましょう。  
1~5に○をつけてください。

	できなかった	できた	よくできた
	1	2	3 4 5
① 毎日の食事について少しくわしく書くことができた。 I was able to write about daily meals in some detail.	1	2	3 4 5
② 1つの文の長さに気をつけて、書くことができた。 I was able to write while being mindful of the length of each sentence.	1	2	3 4 5
③ 「いつも」「ときどき」などを使って、書くことができた。 I was able to write using words like いつも and ときどき.	1	2	3 4 5

! 時間があったら、作文を読み合ったり、発表したりしてみましょう。  
ほかの人の作文のいいところ、おもしろいところ、質問などを書いてみましょう。

! 時間があったら、作文を読み合ったり、発表したりしてみましょう。

ウェブサイトにあるもの

[https://www.9640.jp/books\\_982/](https://www.9640.jp/books_982/)

- 音声 (モデル文 / Point ② 練習1)
- 作文用紙



授業の進め方の例：1つの課を90分で進める場合

<読み合い/発表なし>

10分	5分	30分	10分	30分	5分
前回のFB	Can-do確認 STEP 1 - I (ウォームアップ)	STEP 1 - II (モデル文, Point ①②)	STEP 2 - I (準備メモ)	STEP 2 - II (作文を書く)	STEP 3 (評価)

1課はこの本の使い方、登場人物の確認など

<読み合い/発表あり>

20分	5分	30分	10分	25分
前回のFB 読み合い/発表	Can-do確認 STEP 1 - I (ウォームアップ)	STEP 1 - II (モデル文, Point ①②)	STEP 2 - I (準備メモ)	STEP 2 - II (作文を書く)

作文が書き終わらない場合、作文やSTEP 3 (評価) は宿題にする

とうじょうじんぶつ  
**登場人物**



**優奈**

日本人  
高校生



**マット**

オーストラリア出身  
日本語学校の学生



**翔太**

日本人  
大学生



**中田**

日本人  
コンビニの店長



**ホア**

ベトナム出身  
大学生



**美咲**

日本人  
会社員



**パク**

韓国出身  
主婦



**サントス**

ネパール出身  
会社員



**マリオ**

イタリア出身  
シェフ

**1** 課 **食事**

1 課

**Can-do**

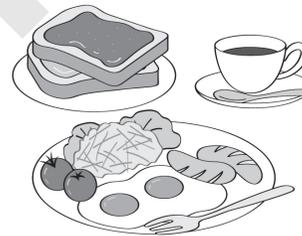
□ 毎日の食事や食生活について、知っている言葉を使って説明することができる。

Can describe daily meals and eating habits using words you know.

**STEP 1**

I. どんな料理ですか。いつ食べる料理だと思いますか。

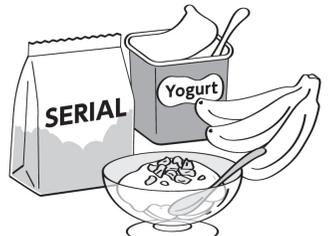
a



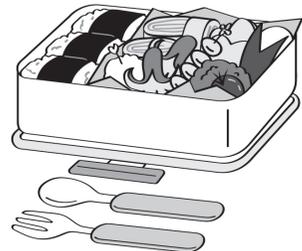
b



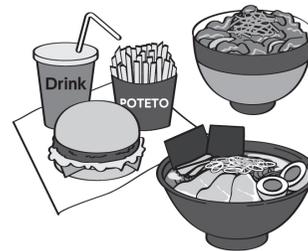
c



d



e



f



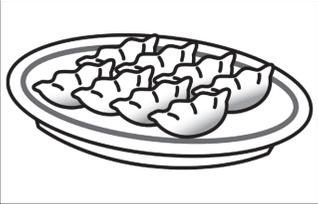
II. モデル文を読みましょう。

1  **マット** (オーストラリア出身、日本語学校の学生) ▶▶ L1-1

朝ご飯は、たいていパンと牛乳です。パンにバターとジャムをぬって食べます。時間があるときは、サラダや目玉焼きを作ります。

昼ご飯は、ハンバーガーなどファストフードの店で食べます。たまに牛丼屋やラーメン屋に行くこともあります。

晩ご飯は、自分で作ります。料理はあまり上手ではありません。でも、インターネットで調べて、いろいろな料理を作っています。この間、友だちを呼んで、みんなでギョーザを作りました。とてもおいしかったです。



- 目玉焼き  ファストフード  牛丼  ギョーザ

2  **優奈** (日本人、高校生) ▶▶ L1-2

朝食は、家族みんなで食べます。いつもご飯とみそ汁です。サラダや果物もよく食べます。

昼食は、学校でお弁当を食べます。お弁当は母が作ってくれます。好きなおかずは卵焼きです。友だちとおしゃべりしながら食べるのはとても楽しいです。ときどき、帰りに友だちとドーナツなど甘いものを食べに行きます。

夕食は、たいてい母と弟と3人で食べます。父は仕事で遅くなることが多いからです。たまに私や弟が食べすぎて、父の分のご飯がなくなってしまうことがあります。



- 卵焼き  おしゃべりする  ドーナツ  ~の分

3  **美咲** (日本人、会社員) ▶▶ L1-3

私は一人暮らしで、早起きが苦手です。だから、朝食は食べないことが多いです。昼は、よく職場の同僚とランチを食べに出かけます。職場の近くには、おいしくて、きれいなお店がたくさんあります。毎日、どのお店のランチにするか楽しみです。

夜は、できるだけ自分で作るようにしていますが、仕事で遅くなったときは、スーパーやコンビニでお惣菜を買って帰ります。一人で食べていると、たまにさびしくなります。でも、休日は、よく友だちや彼と外食して楽しんでいます。



- 一人暮らし  早起き  職場  同僚  お惣菜  たまに  休日  外食する

Point ①

文が長くて意味がわかりにくい場合は、次のように2つの文に分けるといいです。

If the sentence is too long and the meaning is difficult to understand, you can divide it into two sentences as follows.

①全部並べない Do not list everything in a single sentence.

・朝は、毎日ご飯とみそ汁と卵と納豆を食べます。  
→ 朝は、毎日ご飯とみそ汁を食べます。卵や納豆もよく食べます。

②だれが何をしたか、はっきりわかるように Be sure to make clear who did what.

・昼ご飯は、会社で同僚と妻が作ったお弁当を食べます。  
→ 昼ご飯は、たいてい会社で同僚とお弁当を食べます。お弁当は妻が作ってくれます。

練習 次の文を2つに分けましょう。

1) 毎朝、パンと卵とサラダとヨーグルトを食べます。

→

2) 休みの日のお昼は、父が作ってくれたラーメンを食べます。

→



### STEP 3

チェックしましょう。

1～5に○をつけてください。

できなかった      できた      よくできた  
1   2   3   4   5

① 毎日の食事について少しくわしく書くことができた。

I was able to write about daily meals in some detail.

1   2   3   4   5

② 1つの文の長さに気をつけて、書くことができた。

I was able to write while being mindful of the length of each sentence.

1   2   3   4   5

③ 「いつも」「ときどき」などを使って、書くことができた。

I was able to write using words like いつも and ときどき.

1   2   3   4   5

- ! 時間があったら、作文を読み合ったり、発表したりしてみましょう。  
ほかの人の作文のいいところ、おもしろいところ、質問などを書いてみましょう。